



市長 機能別というの活動は限定して、あくまで消防団の後方支援っていうのが役割ですよ。高橋 そうです。最初は我々も敬礼の練習を山川の役場（山川地域総合センター）で何回もしました。

市長 消防団員と同じようにですよ。新入団員の方は礼式訓練を受けるようになってるので、おそらく発足当時ということであって、礼式訓練だったのかもしれないですね。

高橋 今着ている活動服は今年いただきまして。

和泉 徳島での全国大会がコロナで2年伸びたんですが、昨年開催されてお手伝いに行ってきたんです。

市長 それに美郷の皆さん参加されたんですね。

高橋 当日はみんな制服で参加させてもらいました。私は、前の班長さんと前回の青森の全国大会に参加させていたいただいてたんですが、その時に、他の消防団はこういうことしているんやなとすごく関心しました。

市長 県外の大きいところの出初めに行くくと、いろんなパフォーマンスがすごいですよね。徳島市も梯子のパフォーマンスを出初式の時にやりますよね。

高橋 徳島市内の消防団の方とか凄いですよね。

市長 三好市の方も樽回しとか放水とか。

和泉 お正月にニュースで見ますね。

市長 うちが数年前から公民館などのホールで肅々とやっています。

和泉 昔は美郷中学校の校庭で寒々と出初め式をしていたと主人が言っていました。

今取り組んでいること

市長 今、取り組んでいることはありますか？

高橋 去年ぐらいから機能別美郷女性班にも若い人が入ってきているので、いろんな意見が出ています。今、みんなで炊き出し訓練をしてみませんかとの話になって、防災対策課に相談したら、救命講習もというのであわせて進めていっています。

防災対策課では、ダンボールの空箱を利用してバットとトイレを一人一人に実践できるように講習や研修を考えていただいているようです。

市長 訓練は11月ですか？

高橋 11月19日を予定しています。

市長 女性班が主になってますか？

高橋 そうですね。他にも地元の自主防災会や老人会、消防団OB班の方も参加いただけるみたいで、ダンボールバットやトイレの作り方は防災対策課で指導い

ただけるとのことです。

和泉 楽しみですよ。

市長 今、女性総勢14名ですか。

高橋 先月入っていただいた方含めて14名になります。

市長 コロナ禍になってから避難所運営もかなりやり方が変わってきていますからね。昔は大規模災害が発生した時には体育館の中にパーティションが全然ない雑魚寝状態だったと思うんですけど、今はパーティションや段ボールバットとか、段ボールがあれば、誰でもできる簡単なパーティションを作る方法もあるみたいですね。

高橋 この前そのお話をお聞きしたんです。ちょっとずつ集めています。

市長 炊き出しとか、避難所運営の訓練とか、この11月は本場に初めての取り組みなんです。

高橋 機能別で炊き出しをするのは初めてですね。

市長 そうなんです。和泉さんは、会計をされている

ということですが、お金の管理や帳簿をされているのでしょうか？

和泉 はい。通帳を管理して、出納簿も持っています。あまり出入りはないの



ですが、みんなから1000円

ずつ集金して

いろんな会の時のお茶代や総会の際に副班長の藤本さんが作ってくれる資料のコピー代とかを会計の中から出しています。

高橋 今までは報酬費が一括で機能別の通帳に入っていたんですが、今年から個別に入るようになったんです。

和泉 個人の通帳に入るようになったので、現金徴収で1000円だけ集めさせていただきます。

市長 そうですか。全国的に消防団員の方の報酬がちゃんと個人個人についてないという問題がクローズアップされています。加えて報酬自体も少ないと自治体ごとに違いがあったんです。それで国が動いて去年の12月に条例改正がされたんです。国の方もお金を出してくれることになったので、報酬の額も上がりましたよね。

高橋 去年から少し上がっています。

市長 総会の資料作りは藤本さんが担当されているんですか？

藤本 はい。

高橋 きれいにしてくれるんですよ。

市長 年一回、総会をされているんですか？

高橋 はい。最近2年前ぐらいから若い方が動いてくれて、少しずつ変わってきていると思います。

以前だったら、1年に1回集まる程度だったんですが、啓発訪問なんかもちろんと資料を作ってもらっています。

市長 高橋さんは班長をされて長いんですか？

高橋 2年目です。

市長 啓発訪問の資料もお一人お一人の状態まで細かく記録されて、きれいに作られていますね。

高橋 訪問するだけでなく記録が残っている方がいん違うかなというところで、啓発訪問して一人一人の意見を聴いてまとめています。

市長 なかなか他の地区でしていくのは難しいかもしれませんね。

高橋 人数と地域的なものもあると思うんですけどね。美郷だからできたということもあります。

今後の展望

市長 今後、取り組んでいきたいことや展望がありましたら、お話しただけたらと思います。

まずは11月の訓練ですよ。大々的にやるのは初めてのことでしたよね。コロナがあったので、なかなか継続的にできなかったと思いますが。

高橋 救命講習もここで何回かしました。機能が主催ではなくて、一緒に参加

させてもらっているというのが多かったですね。ですから、毎年できるようにがんばっていきます。

藤本 啓発訪問は今までどおり2回ぐらい、炊き出し訓練も年に1回できたらいいかなと思います。

高橋 それと今、機能別の人数を増やすことも考えてます。

制服が今14着しかないんですが、その制服を作っていたのであれば、団員募集の声かけを行いたいと思っています。

市長 なるほど。制服については、団員さんが増えても随時対応させていただきますか？

高橋 ありがとうございます。消防団に入っていた方々をみんなで声をかけて募集していきます。

美郷地区の啓発訪問なので、美郷を知っている方が一番だと思うんです。

市長 新たな女性団員獲得ということですね。

それでは、新開さん何かありますか。
新開 仕事でなかなか出席できないんですが、できるだけ出席できるようにがんばります。

高橋 今後取り組んでいきたいこと、いろいろな研修とか訓練もどうですかという意見もあつたんです。

藤本 この間の5月27日に防災センターへ研修に行きました。

市長 北島町の方ですね。
高橋 はい。今度は、7月9日に同じ北島町の消防学校で女性消防団員スキル



▲令和5年度吉野川市消防団出初式で撮影

アップ研修があると聞いています。
藤本 2人代表で行きます。
高橋 いろんな研修とかがあれば参加させていただけたらと思います。今まであまりなくて、令和元年に青森であった全国大会と、この前の徳島の全国大会だけです。この間の防災センターの研修は、みんなで行きませんかとの声が上がって初めて実現したんです。

市長 これからがんばっていつてもらうと思います。

市長 年間通じていろんな研修会の案内が送られてくると思いますので、良いなと思うものがあつたら参加していただければと思います。

高橋 防災対策課の方からも講義形式にはなるんですけど、年間通じて全員が

吉野川市機能別美郷女性班とは

- 平成 22 年発足
- 団員数 14 名

平成 22 年度に発足以来、災害発生時などにおける、女性の視点を生かした後方支援（避難所の運営、炊き出し）を主な任務とし、平時には、防災に関する研修などに参加し、防災知識の高揚を図るとともに、美郷地区の独居老人宅への啓発訪問や、消防団活動におけるソフト面の中核を担っています。

